

京都府における農林水産業の担い手の現状

京都府における農業の担い手の現状

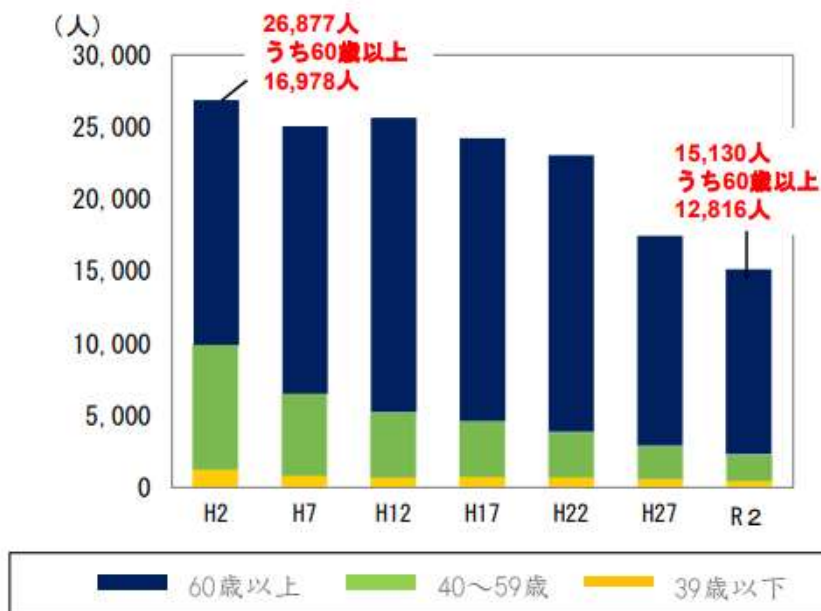
○農業の担い手の減少

基幹的農業従事者数は、過去30年間で約44%減少しており、うち販売目的の茶（工芸農作物）
作付経営体数は、過去20年間で約42%、家畜飼養農家数は、約58%減少している。

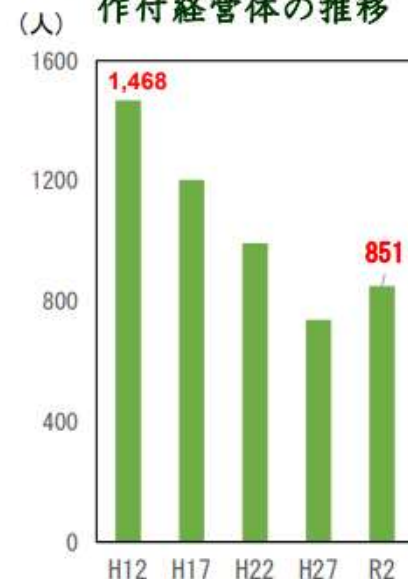
○農業における高齢化の進展

基幹的農業従事者に占める60歳以上の割合は、過去30年間で21.5%増加している。

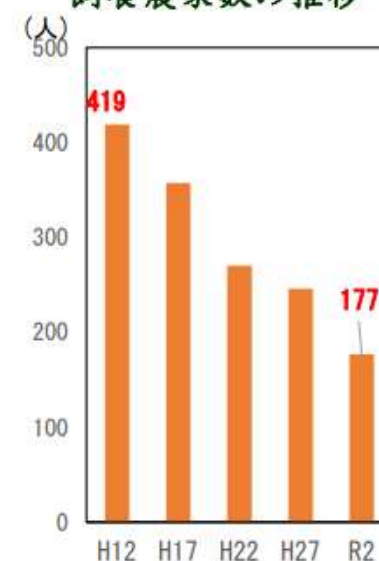
①基幹的農業従事者数の推移



②販売目的の工芸農作物
作付経営体の推移



③販売目的の家畜
飼養農家数の推移



- ・ 基幹的農業従事者 15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者
- ・ 工芸農作物 生茶、なたね、葉たばこ、さとうきび、てんさい、い、こうぞ、みつまた、ホップ等
- ・ 家畜 乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー

出典：農林業センサス

京都府における農業構造の変化

○担い手の減少

基幹的農業従事者数は、過去30年間で約44%減少している（391人／年）。

○高齢化の進展

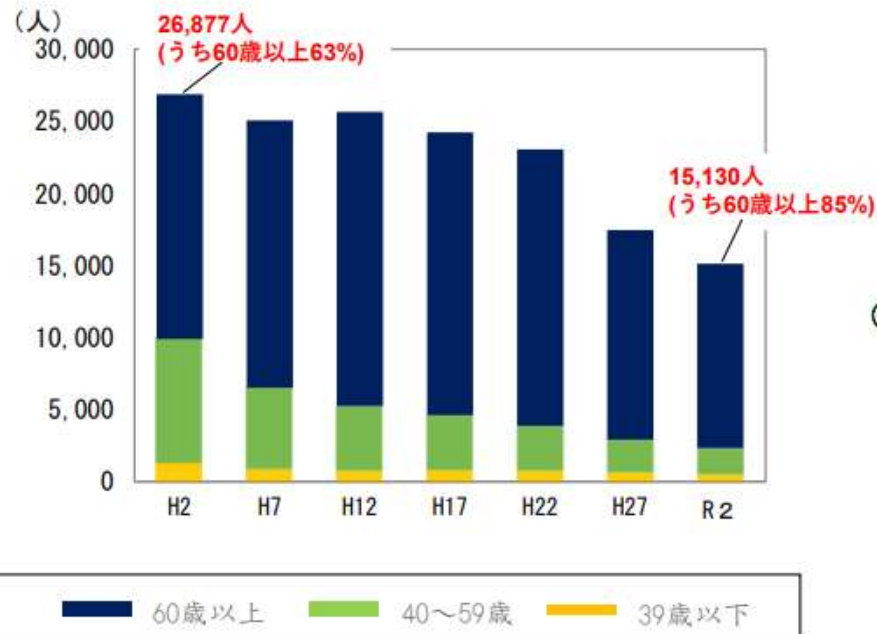
基幹的農業従事者に占める60歳以上の方の割合は、過去30年間で22%増加した。

○経営体の変化

農業従事者の減少に伴い、常時雇用を行う企業の経営体がこの10年で16%増加している。

1経営体あたりの経営耕地面積は32%拡大するなど、大規模経営体への集積が進んでいる。

①基幹的農業従事者数の推移



②企業の経営体数の推移

単位：経営体

	2010年 (A)	2020年 (B)	増加数 (B-A)	増加率 (B/A)
企業の経営体 (常時雇用経営体)	295	343	48	+16%

③1経営体あたりの経営耕地面積の推移

単位：ha／経営体

	2010年 (A)	2020年 (B)	増加数 (B-A)	増加率 (B/A)
平均経営耕地面積	0.99	1.31	0.32	+32%

・**基幹的農業従事者** 15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

出典：農林業センサス

京都府における林業の担い手の現状及び構造の変化

○林業の担い手の減少

林業労働者数は、過去30年間で約74%減少している。

○林業の高齢化の状況

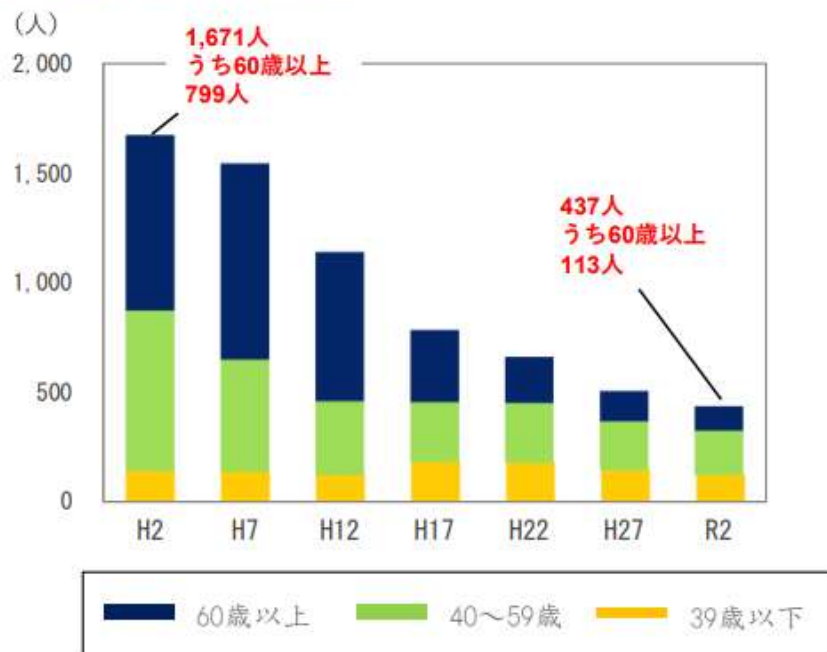
林業労働者に占める60歳以上の割合は、過去30年間で約22%減少している。

○林業事業体の構造

林業事業体数はこの10年で約15%増加している。

林業事業体のうち、素材生産量が500㎡未満で経営基盤が零細な事業体が60%と大半を占める。

①林業労働者数の推移



②林業事業体数の推移

	H25年 (A)	R4年 (B)	増加数 (B-A)	増加率 (B/A)
林業事業体数	113	130	17	+15%

③素材生産量規模別林業事業体数の割合

素材生産量規模 (㎡)	～500	500～1,000	1,000～2,000	2,000～5,000	5,000～10,000	10,000～
割合	60%	12%	6%	8%	6%	8%

・林業労働者 府内に住所を有し、1年間に30日以上林業労働に従事し、賃金の支払いを受けたもの

出典：京都府林業振興課、農林業センサス

京都府における漁業の担い手の現状及び構造の変化

○漁業の担い手の減少

漁業就業者数は、過去30年間で約56%減少している。

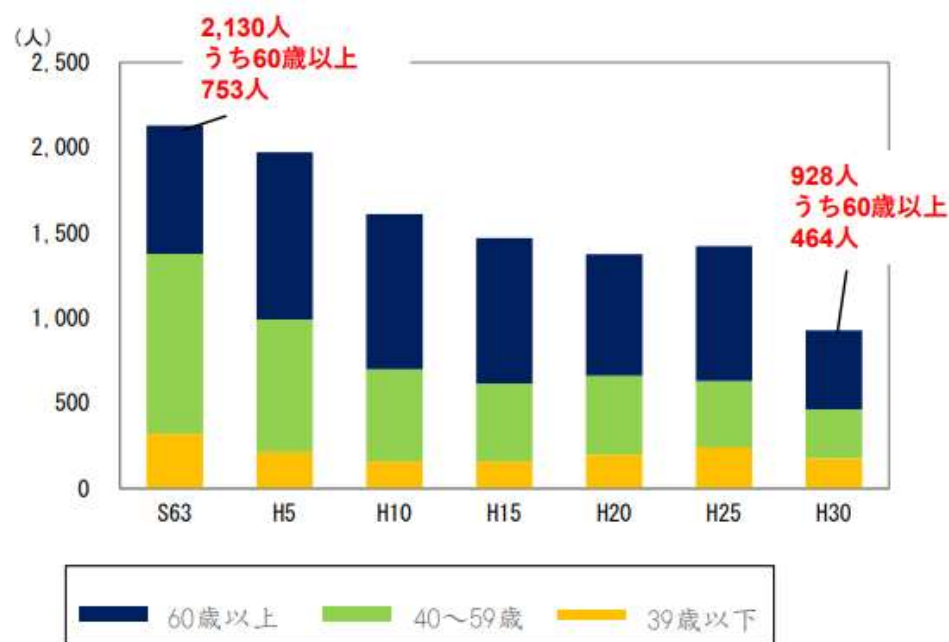
○漁業の高齢化の状況

漁業就業者に占める60歳以上の割合は、過去30年間で約15%増加している。

○漁業経営体の変化

個人経営体数は過去30年間で約55%減少しており、会社経営体が増えている。

①漁業就業者数の推移



②漁業経営体数の推移

	S63	H10	H20	H30
個人経営体	1,384	1,126	915	618
会社経営体	0	1	9	12
その他	38	20	11	6

・漁業就業者 満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した人

出典：京都府水産課、漁業センサス

農林水産業ジョブカフェ相談状況及び移住者の状況

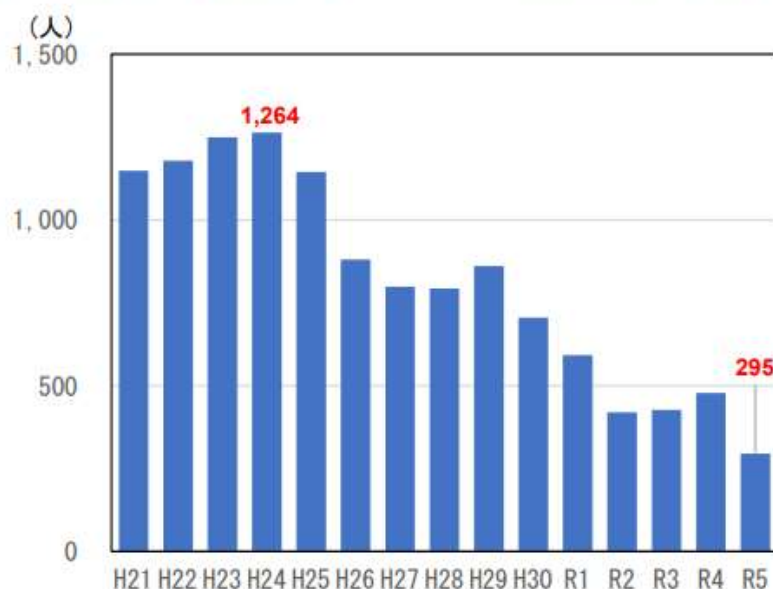
○農林水産業ジョブカフェの相談件数

農林水産業の相談件数は景気の影響を受けやすく、好景気では低くなる傾向がある。
 昨年はコロナ禍後の景気回復により、10年前と比較し76.6%減少した。

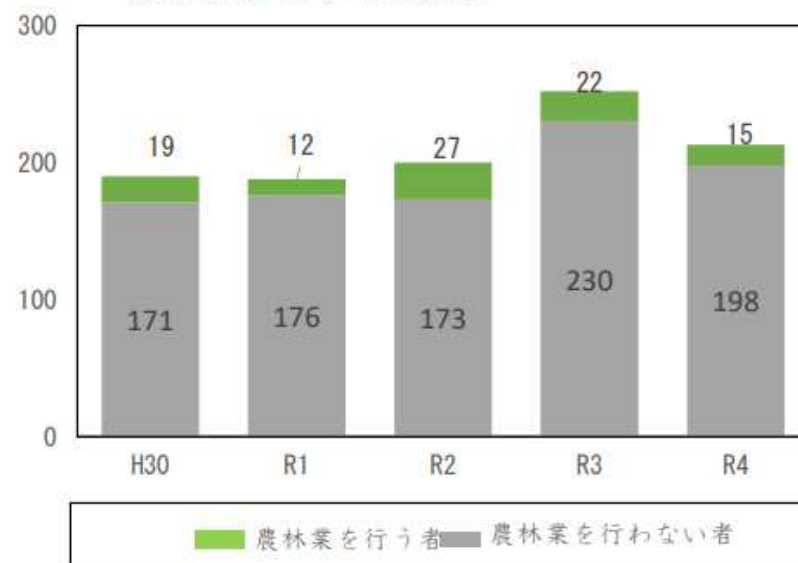
○移住者の状況

京都府内に移住する方は増えているが、農林業を行う者は10%程度で推移している。

①京都府農林水産業ジョブカフェ相談件数の推移



②京都府への移住者数(※)のうち農林業を行う者の推移



(※) 移住者のうち、移住後の職業が分かっている者
 (職業不明者や子供は除く)

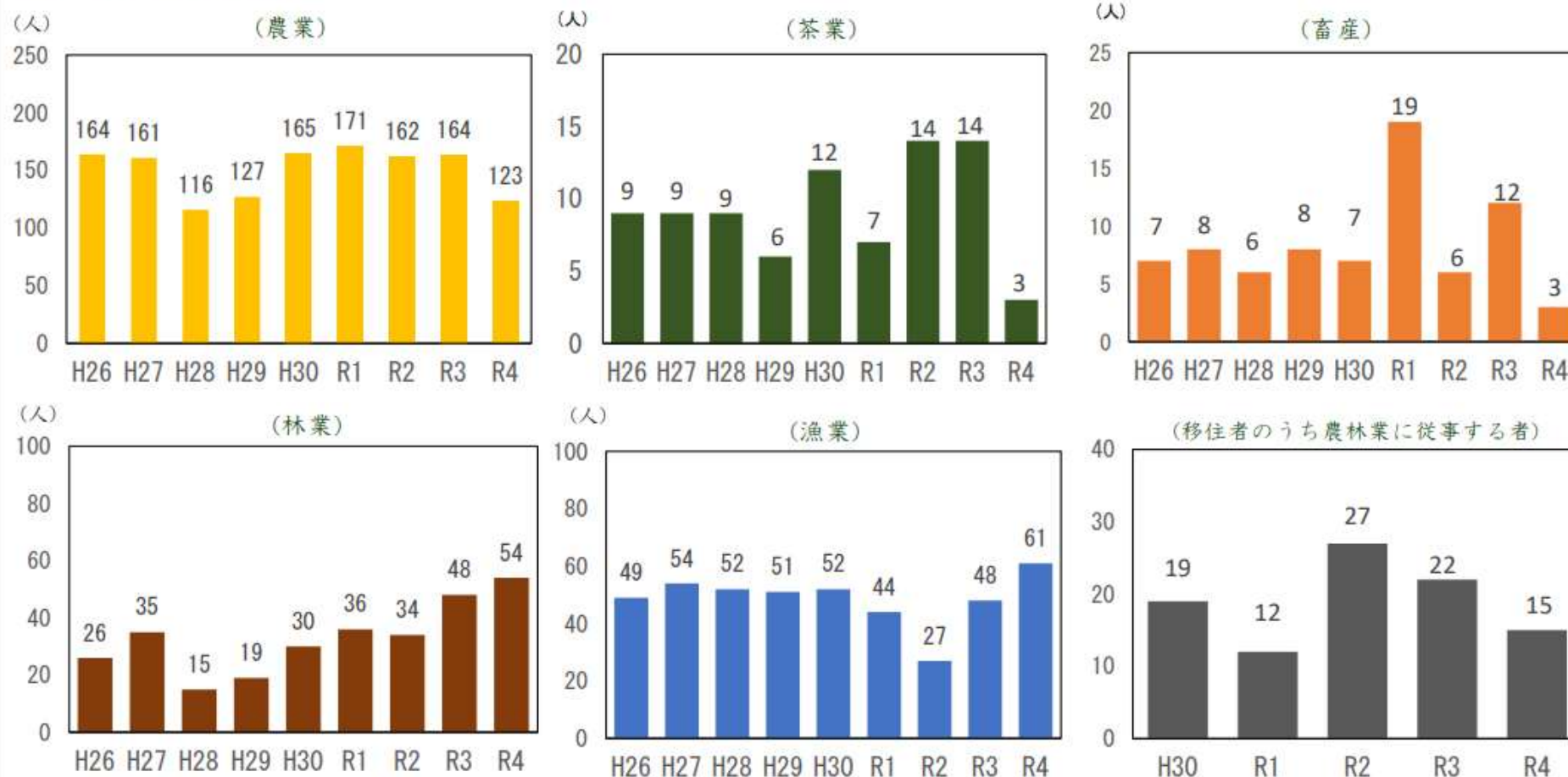
出典：京都府農林水産部

京都府における担い手確保の現状

○担い手の確保

- ・ 農業は、毎年平均150名の新規従事者を確保している（うち茶業は約9名、畜産は約8名）
- ・ 林業は、毎年平均33名の新規労働者を確保しており、林業大学校開校以降、増加傾向。
- ・ 漁業は、毎年平均49名の新規就業者を確保している。
- ・ 京都府への移住者のうち、農林業に従事する者は、毎年平均19名となっている。

①新規就業者数の推移



出典：農林業センサス、京都府農林水産部、漁業センサスより推定

府専門教育施設入学者の現状

京都府が設置する専門教育施設

(農業大学校) 1920年設立 定員20名 累計卒業生数 約3,300名 全国類似施設：47校
 (林業大学校) 2012年設立 定員20名 累計卒業生数 179名 全国類似施設：27校 (近畿5校)
 ※京都府設立時は、日本でも3番目(西日本で初めて)であったが、近年は全国で設立が増えている
 (海の民学舎) 2015年設立 累計卒舎生数 32名 全国類似施設：17施設
 (宇治茶実践型学舎) 2018年設立 定員2名程度 累計卒舎生数 3名
 (畜産人材研修制度) 2020年設立 定員2名 累計修了生 4名

○入学生状況

農業大学校、林業大学校、海の民学舎は定員割れする年度が多い。

農業大学校入学生は、府内出身者の割合が高い(88.3%)。

林業大学校入学生は、府外出身者の割合が高い(59.2%)。

海の民学舎入学生は、府外出身者の割合が高い(42.9%)。

① 京都府立農業大学校入学生における府内・府外出身者数の推移



② 京都府立林業大学入学生における府内・府外出身者数の推移



③ 海の民学舎入舎生における府内・府外出身者数の推移



府内出身者 府外出身者

出典：京都府農林水産部 水産庁

府専門教育施設卒業生の就業の現状

- 農業大学校・林業大学校・海の民学舎における卒業生の定着率(H29入学以降)
- (農業大学校) 卒業時の府内就業率は76.4%であり、就業者の府内定着率は76.5%
- (林業大学校) 卒業生の府内就業率は48.6%であり、就業者の府内定着率は85.7%
- (海の民学舎) 卒舎する割合は69%であるが、府内就業率は100%、府内定着率は65.0%
- (その他)宇治茶実践型学舎及び畜産人材研修制度の卒舎・修了生の定着率は、66.7%

①京都府立農業大学校における府内就業及び定着率(H29入学以降)

	入学生	卒業生(i)			府内就業率 (ii)/(i)	府内定着率 (iii)/(ii)
			うち府内 就業(ii)	うち現在も 就業(iii)		
合計	90	89	68	52	76.4%	76.5%

②京都府立林業大学校における府内就業及び定着率 (H29入学以降)

	入学生	卒業生(i)			府内就業率 (ii)/(i)	府内定着率 (iii)/(ii)
			うち府内 就業(ii)	うち現在も 就業(iii)		
合計	74	72	35	30	48.6%	85.7%

③海の民学舎における府内就業及び定着率 (H29入舎以降)

	入舎生	卒舎生(i)			府内就業率 (ii)/(i)	府内定着率 (iii)/(ii)
			うち府内 就業(ii)	うち現在も 就業(iii)		
合計	29	20	20	13	100.0%	65.0%

④宇治茶実践型学舎卒舎生定着率

卒業年度	府内就業数	定着者数	府内定着率
令和3年	2	1	50.0%
令和4年	1	1	100.0%
合計	3	2	66.7%

⑤畜産人材研修制度修了生定着率

卒業年度	府内就業数	定着者数	府内定着率
令和3年	2	1	50.0%
令和4年	0	0	—
令和5年	1	1	100.0%
合計	3	2	66.7%

(注)

離農、退社、他産業への転職に加え、府内同業種の他会社に就業した場合を定着しなかったとして換算

出典：京都府農林水産部